

## 【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図る学習支援ソフトの活用（1）

## 個別最適な学びと協働的な学びの並行的な学習 5年 算数「整数の性質を調べよう」



本校では、予習を推奨しているので児童は教科書に載っている問題に1度は目を通している。基本的な問題については、特に困難を感じずに解いている。まず、本時の学習ポイントとなる点までは一斉学習で行う。



引き続き、発展問題に取り組む。この際、個での学習、ペア学習、グループでの学習など、学習形態をそれぞれの児童が選択するとともに、情報端末（タブレット型PC）の使用についても、個々が選択する。直接、学習支援ソフトに書き込んでも良いし、ノートに書き込んでも良い。

学習支援ソフトには、学習課題解決のヒントが準備されているが、それを利用するか否かも児童が選択する。

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

伊是名村立伊是名小学校

## 【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図る学習支援ソフトの活用（1）



支援が必要な児童については、担任や学習支援員が支援に当たり、児童の学習のサポートを行う。



課題を解決したら、説明を文章化しペアやグループで説明し合う。



学習のまとめとして、教師が準備したプレートカードに自己評価、まとめ、学習での気づきを記入し、クラス内で共有する。

#### <成果および課題等>

- 個々の特性に応じた学習方法を児童が主体的に選択できるようになった。これにより、課題解決中は個別的な学習と協働的な学習が並行して行われるようになった。
- 個での学習においても、最終的には学習支援ソフトを活用し、思考を共有化することができるようになった。
- ▲「個別最適な学び」と「協働的な学び」をより一体化するための方策を研究する必要がある。

#### 授業実践ビデオについて

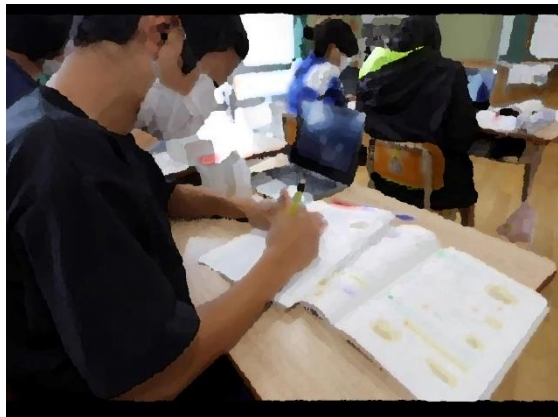
本校では、「教育関係者及びリーディングDXスクール事業関係者のみに公開する」という条件のもと保護者に公開許可をいただいております。視聴希望される方は

<http://izena-sho.izena.ed.jp/category/dxschool/>  
よりリンクされています、視聴申請フォームよりお申し込み下さい。



## 【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図る学習支援ソフトの活用（2）

## 個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図る学習 6年 算数「角柱と円柱の体積の求め方を考えよう」



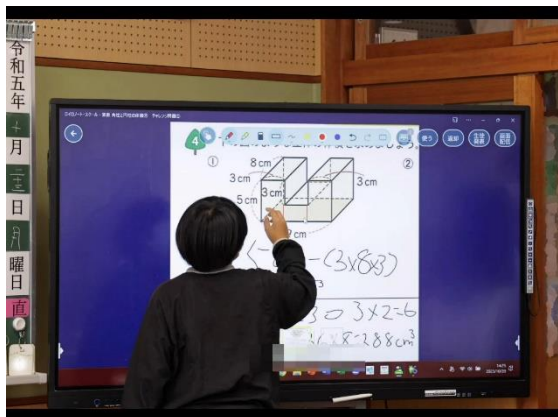
① 個で、ノートに体積の求め方を記入する児童



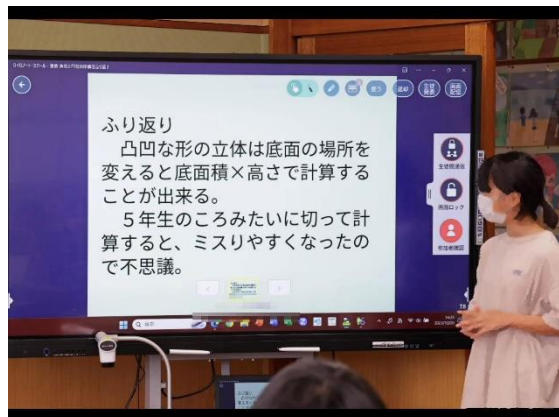
② ペアで、情報端末を使いながら求め方を考える児童



③ 立体模型を使い、求め方を説明する児童



④ 学習支援ソフトを使用し、体積の求め方を共有



⑤ 学習支援ソフトを使用し、学習の振り返りを共有

<成果および課題等>

○個々の児童が学習方法を選択し、自主的に課題解決に当たった。

▲「個別最適な学び」と「協働的な学び」をより一体化し、深める方策を研究する必要がある。

授業実践ビデオについて

本校では、「教育関係者及びリーディングDXスクール事業関係者のみに公開する」という条件のもと保護者に公開許可をいただいております。視聴希望される方は

<http://izena-sho.izena.ed.jp/category/dxschool/>

よりリンクされています、視聴申請フォームよりお申し込み下さい。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

伊是名村立伊是名小学校

## 【取組内容②】オンライン学習動画を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体化

調べ学習におけるオンライン動画活用及びその他資料の活用を個々が選択する学習 5年 国語「日本の伝統芸能」



5年国語「日本の伝統芸能」  
(能、狂言等)に関する学習である。

オンラインの動画やネット上の情報、  
または書籍など元に自身に合った方法  
で日本の伝統芸能について調べた。

個での学習、ペアでの学習、グ  
ループでの学習と、学習形態につい  
ても個々が選択して行った。



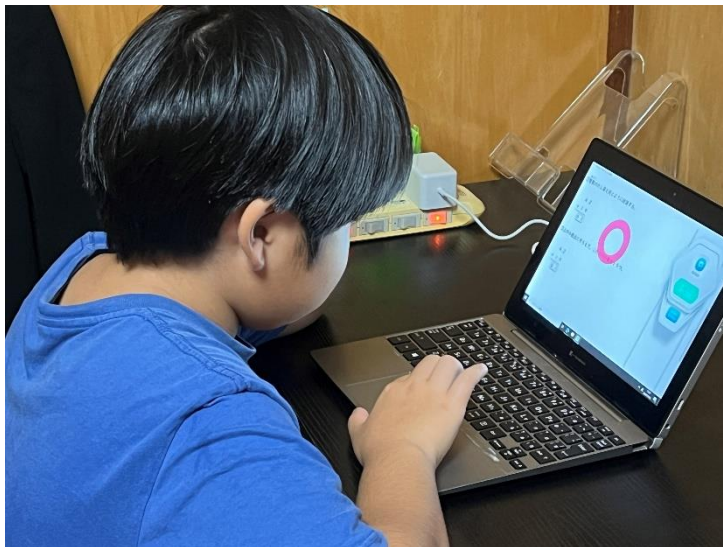
＜成果および課題等＞

○動画やインターネット、書籍等  
様々な方法で調べることができた。  
○動画を視聴することにより、より  
具体的に伝統芸能を理解するこ  
うことができた。

▲より多くの紙媒体（書籍類）  
の資料や思考共有アプリを活用し  
た資料を準備しておけば、より伝  
統芸能への理解が深まった。

## 【取組内容③】オンライン(クラウド)型AI学習ドリルを活用した家庭学習の充実

## 個々の学習達成度(習熟度)に応じた学習課題を家庭学習で取り組む実践



オンライン(クラウド型)AI学習ドリルを活用し、家庭学習を行っている。

学習の習熟度に合わせて学習課題が個々に変わるので、着実に学習内容を理解しながら進める事ができる。

学習の経過、結果等についてはクラウド上に保存され、教師は児童の学習進捗状況を確認できる。

日々の端末持ち帰りでの活用や、長期休業中の活用を行っている。

#### <成果および課題等>

- それぞれの習熟度に応じた問題が出題されるため、個々の状況に応じた学習ができ、児童の学習意欲が高まった。
- 教材を学校でダウンロードし、オフラインでも使用できるためWi-Fi環境の無い環境下でも学習できるため、全児童が家庭で活用できた。

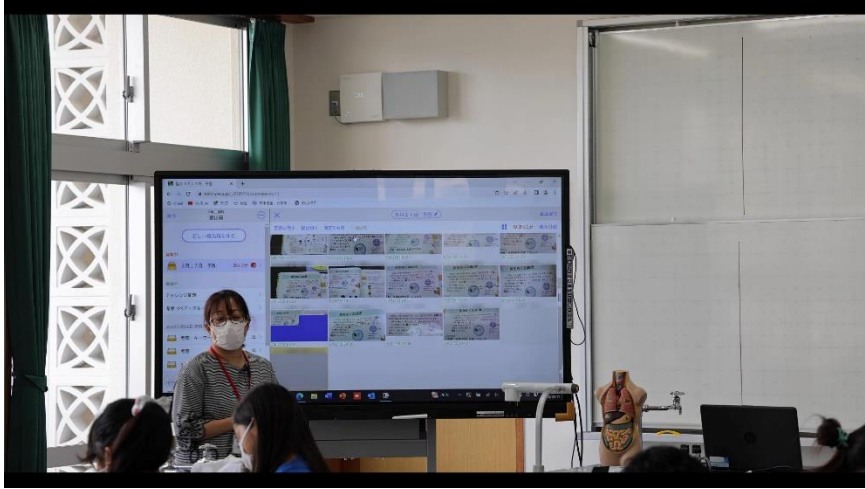


## リーディングDXスクール事業【実践事例】

伊是名村立伊是名小学校

## 【取組内容③】家庭学習での予習を授業に生かす学習支援ソフトの活用

## 家庭学習における予習での内容を、思考共有アプリを活用しクラス間で共有する実践



本校では、家庭学習として主に算数や理科で予習を推奨している。予習を通して理解したことなどを思考共有アプリに記入(あるいは、ノート等に記入した物を撮影し取り込み)し、予習の内容を児童間で共有している。

## ＜成果および課題等＞

- 予習を習慣化することで学習内容をより深く理解できるようになった。
- 学習課題は何かを予め理解し学習に臨むようになった。
- ▲予習の中で生じた各自の学習課題の設定を授業の中で生かし切れておらず、個別的な学びへの繋がりが十分ではない。



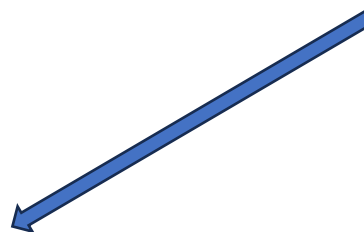
授業開始前に予習内容を確認しあう児童の姿も見られる

【取組内容④】標準的なアンケート集計機能を活用した業務改善

グループウェアとアンケート集計機能を活用し、業務改善を図る実践



学校行事終了後、校内で利用しているグループウェアにアンケートを告知。回答先のURLを掲載。



令和5年度 火災避難訓練の振り返り

火災避難訓練では、子どもたちへの事前指導から事後指導までの協力ありがとうございました。火災避難訓練での反省を2月16日（金）までに回答よろしくお願いいたします。

- 実施時期について  
回答を入力してください
- ねらいは達成できたか  
回答を入力してください
- 指導内容について（事前指導、実施訓練等も含めて）  
回答を入力してください
- 児童の様子について  
回答を入力してください



紙ベースのアンケートと比較し、瞬時に集計が可能。

＜成果および課題等＞

○これまで紙ベースで行われていたアンケートと比較し、瞬時に集計が可能となり、集計に掛かる時間が大幅に短縮された

▲校内での利用のみになっており、今後学校評価など保護者に対してもアンケートを行う際の告知方法や、回答率の確保。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

伊是名村立伊是名小学校

## 【取組内容⑤】 デジタルシチズンシップ教育の推進（1）

## 主体的に情報端末を活用する児童の育成を図る「GIGAびらき」の実践 1年 特別活動「GIGAびらき」



初めて情報端末(タブレット型PC)を手にする1年生対象に「GIGAびらき」を行った。

校長による、情報端末を使用する際に考えなければならないことの講話を聞いた後、児童一人一人に校長から端末を手渡した。



IDやパスワードの入力方法、情報端末を活用してできることなど、6年生が1年生にレクチャーした。また、本取組について、保護者に公文で知らせ、家庭でも端末の使い方について考える機会を作った。

#### ＜成果および課題等＞

○これから自分が使う情報端末を丁寧に扱おうとする態度が養われた。

○保護者にも取組を共有することで、家庭でも端末の取り扱いを考える機会を作ることができた。

#### 授業実践ビデオについて

本校では、「教育関係者及びリーディングDXスクール事業関係者のみに公開する」という条件のもと保護者に公開許可をいただいております。視聴希望される方は

<http://izena-sho.izena.ed.jp/category/dxschool/>

よりリンクされています、視聴申請フォームよりお申し込み下さい。



## 【取組内容⑤】デジタルシチズンシップ教育の推進（2）

家庭におけるメディアとの付き合い方（メディアバランス）を考えさせる実践 2年 特別活動「メディアバランスを考えよう」



情報端末(タブレット型PC)を始めとする、生活を取り巻くメディアとの付き合い方について考える授業。本授業では特に帰宅後のメディアとの付き合い方（メディアに接する時間等）について取り上げ、健康的な生活を送るにはメディアとどのように関わっていけば良いかを児童個々に考えさせた。

まず、帰宅後のメディアとの極端な例を教師が示し、問題点や改善点を考えさせた。（グループ活動）



思考共有アプリに教師が準備したひな形に自身の帰宅後の計画を作成。健康的な生活を送るためというめあてのもと、どのようにメディアと関われば良いか考えながら作成。



それぞれの児童の計画を共有し、自身の計画と比較。他の児童の計画の優れている点などを見つけ、自身の計画をより良いものにする。

本授業は公文にて保護者とも情報を共有。家庭でのメディアとの関わりについて考える機会を作った。

＜成果および課題等＞

○児童それぞれがメディアとの関わりについて関心を持ち、健康的な生活を送るためには、主に時間的にどのように関われば良いか考える事ができた。

▲メディアとは何かについてより深く考えさせる必要があった。メディア＝悪ではなく、メディアの良さ、メディアによってもたらされる恩恵や質などにも踏み込む必要があった。

授業実践ビデオについて

本校では、「教育関係者及びリーディングDXスクール事業関係者のみに公開する」という条件のもと保護者に公開許可をいただいております。視聴希望される方は

<http://izena-sho.izena.ed.jp/category/dxschool/>  
よりリンクされています、視聴申請フォームよりお申し込み下さい。

## 【取組内容⑤】 デジタルシチズンシップ教育の推進（3）

長期休業期間中における、家庭での情報端末との関わりについて主体的に考える児童の育成

4～6年 特別活動「夏休みタブレットPCをより善(よ)く使おう！」



夏休みを前に、それまで「サイバー犯罪防止教室」として外部講師を招聘して行っていた講話を変更。デジタルシチズンシップ教育の視点から、家庭に長期間情報端末を持ち帰る夏休み期間中、どのような点に注意し、どう対応（対処）すればよいか考えさせた。

講話は、校長室よりオンラインで各教室に生配信した。



各教室に校長室より配信。①「メディアバランス」について考えよう②「デジタル足あと」について考えよう③「ネットいじめ、オンライントラブル」について考えようの4点について講話。



講話を視聴後、ワークシートに講話内容それぞれについてどう対応（対処）すればよいかそれぞれで考え記入。ワークシートは家庭に持ち帰り、家庭でも夏休み中のタブレットの使い方について考える機会を作った。

＜成果および課題等＞

- 情報端末（タブレット型PC）をより善く使うにはどうすれば良いか、個々の児童がそれぞれ考える事ができた。
- 情報発信する際の責任など、より深く情報発信について慎重に考えようとする姿勢が見られた。
- ▲夏休み直前ということで、急遽設定したため、講話の内容を詰め込みすぎた。一つ一つの案件についてじっくり指導する計画を立てる必要がある。